



堺財務戦略について

令和2年2月13日

説明の概要



-
1. 策定のねらい
 2. 早期具体化
 3. 将来効果



(1) 楽観ムード払拭



(2) 独自施策の原資を模索

- ・ 民間投資を誘導
- ・ 労働力人口を確保
- ・ 寄附を獲得



(3) 財務活動の転換点

- ・ 寄附、国補助等の積極獲得
- ・ エビデンスに基づく事業構築
- ・ 他の事業主体との連携、ゼロ予算事業
- ・ ICTの積極活用
- ・ ストック戦略



(4) ストックの目標設定

- ・ 市債残高 2,500億円程度を上限に減少
- ・ 財政調整基金残高 100億円



(5) 行財政改革の深化

- ・ 行財政改革プログラムは作らない
- ・ PDCAサイクルを回す



(1) 民間投資の誘導

- ・ 堺市イノベーション投資促進条例
- ・ イノベーション投資促進室



(2) 寄附の獲得

- ・ 骨髄ドナー支援
- ・ 鉄砲鍛冶屋敷の整備
- ・ 児童養護施設への支援
- ・ 子ども食堂への支援



(3) 府・近隣自治体との連携

- ・ 大阪観光局
- ・ 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン
- ・ SNSを使用した児童虐待相談



(4) ゼロ予算

- ・ 空き店舗を活用した保育所等の整備
- ・ 高齢者のごみ出し支援
- ・ おでかけ応援制度のキャッシュレス化検討



(5) ICTの積極活用

- ・ 区役所業務の効率化
- ・ 道路等の不具合箇所をLINEで通報
- ・ ICTイノベーション推進室



- (1) 市民満足度の向上**
- (2) 適正な投資**
- (3) 外部資源の積極活用**